

四国学院大学 vs 慶應義塾大学

12月7日(水)11:00

ゼットエー

徳山大を4-2で破り、インカレ出場権を手にした四国学院大学。創部6年目、4度目のプレーオフ参戦で全国の舞台へたどり着いた。記念すべき初戦の相手は慶應義塾大学。「中四国地域を代表して戦えることの誇りを胸に」名門と激突する。リーグ戦では11試合で16得点14失点と、拮抗した試合をモノにして勝ち点を積み上げてきた。今大会でも粘り強く戦って勝機を見出したい。ブロックを構築した守備から攻撃への素早い切り替えでチャンスを作り出せるか。チーム一丸となって全国初戦に挑む。

対する慶大は、3年連続のインカレ出場を決めた。今季は関東リーグを6位で終了。22試合で40失点と守備に課題が残っただけに、名古屋加入内定のDF宮地元貴(4年)と千葉加入内定のDF溝渕雄志(4年)が並ぶ最終ラインは奮起したいところだ。一方、37得点はリーグ2位タイの数字だった。9得点を挙げたFW山本哲平(4年)や突破力を備えたMF手塚朋克(3年)ら攻撃陣にタレントが揃っているだけに、「速い攻撃でゴール前まで迫るプレーが印象的」(須田芳正監督)という四国大を警戒しつつ、持ち前の得点力を示して勝利を掴み取りたい。

(文・内藤悠史)

| | |
|-------------|----------------|
| 1 大西 | 4 学大 |
| 6 増田 | 3 野上 25 松島 5 榎 |
| 9 大濱 | 4 古閑 13 福島 |
| 13 松木 | 10 猪本 14 山内 |
| 17 落合 16 片岡 | 11 手塚 |
| 6 井上 | 2 豊川 4 宮地 5 溝渕 |
| 1 田野 | |

慶大

仙台大学 vs 金沢星稜大学

12月7日(水)13:30

ゼットエー

東北地区代表として16年連続33回目のインカレ出場となる仙台大学。しかし、昨年は初戦に中京大と対戦し、2点リードで折り返したが後半に3失点するという逆転負けを喫した。「今季はチーム全員で戦うことを目標にしてきました」と語る吉井秀邦監督の言葉通り、東北リーグでは圧倒的な強さで全勝優勝。来季ツエーゲン金沢加入が内定しているDF榎本滉大(4年)や、1年次から仙台大の9番を背負ってきたFW川島章示(4年)、松山山雅FCでのプレー経験があるMF山田満夫(3年)と、豊富なタレントも揃っている。「闘う準備はできた」(同監督)という仙台大が、初戦突破を狙う。

対する金沢星稜大学は、昨年の大会のプレーオフで順天堂大学に敗れ惜しくも本選出場とならなかった。悔しさを胸に今年度は「チームとしての力を磨くことに取り組んだ」(小松崎保監督)という。その結果、北信越リーグを無敵優勝、21年ぶりのインカレ出場(金沢経済大から改称して以来は初出場)の切符を手にした。仙台大というインカレ常連校相手には「チャレンジャー」という謙虚な気持ちで挑みたい」と話す。

(文・佐川貴子)

| | |
|-----------------------|------|
| 1 山崎 | 4 学大 |
| 2 川上 4 榎本 3 川口 | |
| 7 野口 10 山田 6 菅原 18 吉田 | |
| 14 宮澤 9 川島 | |
| 11 丹代 | |
| 8 米倉 9 西原 | |
| 10 大谷内 24 梅村 | |
| 25 斉藤 14 齋藤 | |
| 6 本塚 21 廣田 | |
| 5 舟橋 4 瀧島 | |
| 1 永井 | |

星稜大

★大会公式プログラム★

各会場プログラム販売所にて、大会公式プログラムを1冊1,000円で販売中！
巻頭「室屋成(明治大→FC東京)×山田将之(法政大→FC東京内定)」の特別対談は必見！！

☆ユニフォーム型ストラップ☆

出場全大学のユニフォーム型ストラップを販売いたします！1個500円。
第65回大会にちなんで、65th All Japan Championshipの特別仕様。観戦の記念に是非。

★I PLAY FOR PHOTO BOOK★

インカレ出場全大学の選手・スタッフの想い「I PLAY FOR…」が詰まった大会公式グッズ！
1冊500円。冊数限定なのでお買い求めはお早めに！！

◇(一財)全日本大学サッカー連盟公式SNS◇

全会場・全試合リアルタイム速報はTwitter: @JUFA_soccer
大会期間中の感動の名シーンの振り返り Instagram: @jufa_japan



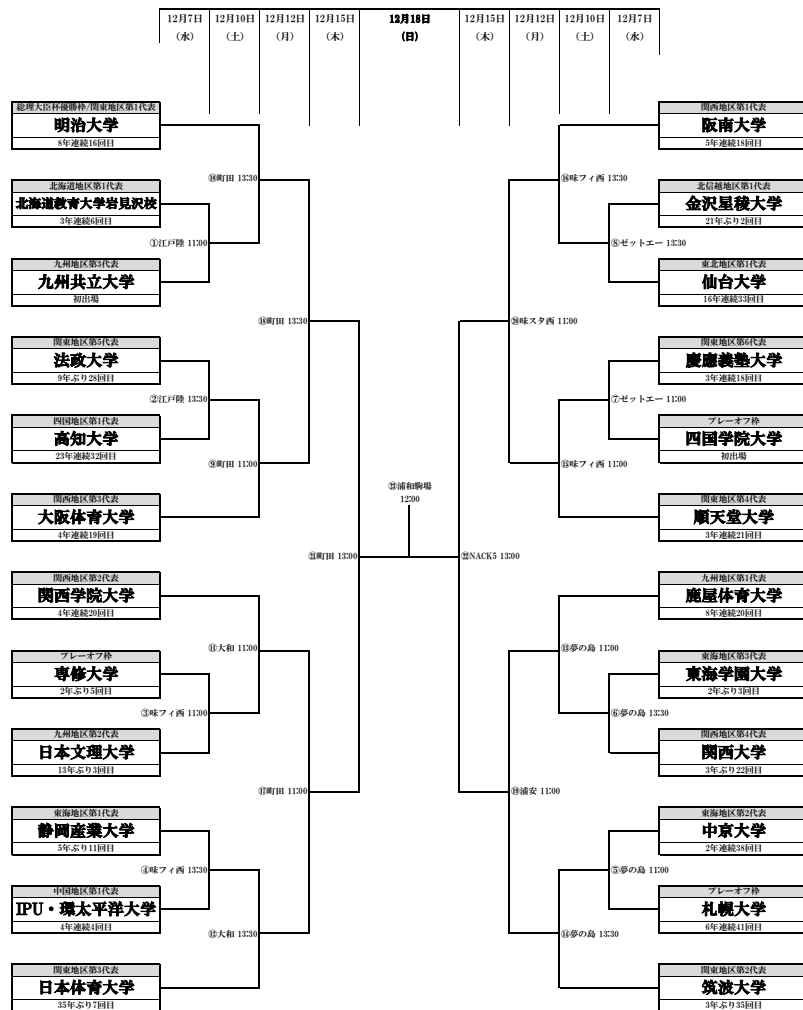
平成28年度 第65回全日本大学サッカー選手権大会

展望

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM NO.1

発行：一般財団法人 全日本大学サッカー連盟

内藤悠史・森田将義・杉山みらん・村上真祐乃・佐川貴子



北海道教育大学岩見沢校 vs 九州共立大学

12月7日(水) 11:00

江戸陸

北海道地区第1代表は3年連続6回目の出場となる北海道教育大学岩見沢校。今季、全員の運動量が前方への運動性に反映するようにトレーニングをしてきた。チームの注目選手は10番をつけるMF 奈良創平(4年)。キャプテンとしても北教大の攻守を支えてきたチームの心臓だ。過去2大会は、2回戦以降に進出していない。チームを率いる越山賢一監督は、九州共立大学について「今のところデータは全くない」と言うが、持ち前の運動量を発揮しトーナメント戦を勝ち抜けるか。

対する九州地区第3代表はインカレ初出場となる共立大だ。チームの注目選手は昨シーズンから守護神としてゴールを守ってきたGK 藤野聖也(4年)。正確なキックは攻撃の起点ともなる。彼の活躍なしでは今年の躍進はなかっただろう。今年度は天皇杯福岡県予選の決勝に進出し、総理大臣杯にも初出場を果たした。総理大臣杯では1回戦で敗退しているが、チームスローガン通り礼儀を持って真摯に取り組み、この雪辱を全国の舞台であるインカレで果たすことはできるか。(文・杉山みらん)

| | | | |
|-------|--------|-------|------|
| 1 福永 | 北教大 | | |
| 6 高橋 | 3 深井 | | |
| 2 井端 | 26 見原 | | |
| 10 奈良 | | | |
| 16 小川 | 8 小泉 | | |
| 14 加藤 | 23 小笠原 | | |
| 17 中本 | | | |
| 9 安里 | | | |
| 11 宮本 | 10 古川 | 7 木橋 | |
| 14 角 | 4 横道 | | |
| 6 吉田 | 3 山下 | 16 富田 | 2 三村 |

| | |
|-----|------|
| 共立大 | 1 藤野 |
|-----|------|

法政大学 vs 高知大学

12月7日(水)13:30

江戸陸

1部復帰2年目の今季を5位で終え、9年ぶりとなるインカレ出場権を掴んだ法政大学。9勝4分9敗と五分の成績ながら、2位以下が大混戦となった関東リーグで上位に進出した。ただ、終盤5試合は1勝1分3敗と失速。最終節では4失点を喫している。FC東京加入内定のDF 山田将之(4年)を中心とした守備陣の奮起に期待したい。総理大臣杯には出場できなかっただけに、今大会に懸ける思いは強いだろう。入りが難しい初戦、「チーム全体で堅守を披露したい」(長山一也監督)の言葉通り、安定した守備をベースに主導権を握っていききたい。

対する高知大学は、23年連続出場を達成。四国で磐石の地位を築く。ただ、インカレでは早期敗退が続いているだけに、今大会では1つでも多く勝ち進みたい。川田尚弘監督は「少しでも隙を見せるとやられてしまう」と法大を警戒。MF 元田龍矢(4年)やFW 勝田一秀(3年)を中心とした攻撃陣が、法大守備陣を相手にどんなプレーを披露するか。全8試合の四国リーグで7得点を挙げた2人が前線で起点となれば、勝機が見えてくるはずだ。(文・内藤悠史)

| | | | |
|---------|-------|-------|------|
| 21 関口 | 法大 | | |
| 4 柳沢 | 6 伊藤 | | |
| 2 山田 | 16 長倉 | 23 黒柳 | |
| 17 武藤 | 9 鈴木 | 13 青柳 | 8 川崎 |
| 26 デイザロ | | | |
| 18 勝田 | 8 藤川 | | |
| 11 元田 | 9 山崎 | | |
| 10 藤井 | 12 後藤 | | |
| 6 小寺 | 3 西塾植 | | |
| 20 山下 | 4 長澤 | | |

| | |
|-----|------|
| 高知大 | 1 亀岡 |
|-----|------|

専修大学 vs 日本文理大学

12月7日(水)11:00

味フィ西

一昨季まで関東4連覇を果たした専修大学も、ここ2年は苦しんでいる。今季は残留争いに巻き込まれたが、最終的には7位で終了。プレーオフ出場権を掴み、新潟医療福祉大学を3-1と破って2年ぶりのインカレ出場を決めた。「攻撃的で美しいサッカー」を標榜する中、リーグ戦では22試合で92得点にとどまったが、清水加入内定のDF 飯田貴教(4年)とMF 佐藤達樹(4年)が縦関係で並ぶ右サイドの突破力は大会屈指。中盤にもMF 野田卓宏(4年)ら高い技術を持つ面々が揃うだけに、ボール支配率を高めてゴールを狙いたい。

日本文理大学は13年ぶり3回目のインカレ出場。今季は九州リーグで2位と躍進を遂げ、今大会では全国初勝利を狙う。注目は11試合で24得点を挙げた攻撃陣。上背のある選手は少ないが、テクニックとスピードで突破を図る。中でも、リーグ戦8得点を記録して得点王に輝いたFW 児玉怜吾(3年)に期待したい。「大学サッカーをリードしている」と専修大への敬意を表した由利繁弘監督は「自分たちらしく闘う」と抱負を語る。全国の舞台で持ち前の「全員サッカー」を展開し、悲願の1勝を果たしたい。(文・内藤悠史)

| | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 21 葛 | 専大 | | |
| 15 田口 | 26 鹿沼 | 5 小口 | |
| 2 飯田 | 6 吉村 | 8 野田 | |
| 7 三沢 | | | |
| 11 佐藤 | 9 下田 | 27 中山 | |
| 10 児玉 | | | |
| 11 中山 | 7 吉田 | 15 濱上 | 9 小野 |
| 8 藤田 | 30 渡邊 | | |
| 2 村上 | 6 濱田 | 4 西村 | |

| | |
|-----|------|
| 文理大 | 1 甲斐 |
|-----|------|

静岡産業大学 vs IPU・環太平洋大学

12月7日(水) 13:30

味フィ西

東海地区第1代表の静岡産業大学は5年ぶり11回目のインカレ出場。この5年間でインカレ、総理大臣杯共に出場していないため、久しぶりの全国大会となる。そのため、「初出場のつもりで粘り強くプレーし、レベルの高いステージで1試合でも多く戦えば」と成嶋徹監督は言う。前回出場した第60回大会では1点差で初戦敗退をしている。U-19 全日本大学選抜にも選出されたFW 栗田マーク(1年)を中心に得点を重ね、1点の重みを感じることでできる試合を展開したい。

対する中国地区代表のIPU・環太平洋大学は4年連続4回目の出場。近年全国レベルの力をつけてきたチームだ。だが、過去3大会では得点を取ることができていない。「静産大は強固な守備を武器に東海リーグを制したということなので、その守備を崩して得点を挙げたい」と桂秀樹監督。今年度から本格的に取り入れたという筋力トレーニングで身体を鍛えてきた。その成果を見せることはできるか。勝つか負けるかのトーナメント戦。チーム力を発揮し、2回戦へ駒を進めるのはどちらの大学か。(文・杉山みらん)

| | | |
|-------|-------|-------|
| 1 中村 | 静産大 | |
| 6 朝香 | 5 諏訪部 | |
| 4 新村 | 8 名和 | 14 藤池 |
| 17 藤田 | 7 山本 | 13 小寺 |
| 21 栗田 | 9 遠山 | |
| 14 梶山 | 9 春岡 | |
| 7 横山 | 8 竜田 | |
| 23 福田 | 10 片田 | 18 本間 |
| 4 甲斐 | 3 安田 | 5 利田 |

| | |
|-----|------|
| 環太大 | 1 美野 |
|-----|------|

札幌大学 vs 中京大学

12月7日(水)11:00

夢の島

プレーオフで延長の末、6年連続41回目の出場となる北海道地区第2代表札幌大学。地区リーグでは11勝3敗とほぼ負けなし。降雪の影響で屋外での練習が困難のなか、直前合宿など通してコンディションを整え、初戦を迎える。この試合、守勢が予想され、数少ないチャンスをもものにできるかが重要と語る札幌大。去年の1回戦突破という記録を超えるため、北海道地区リーグ得点ランキング1位 FW 稲田浩平(4年)、3位 FW 新田裕平(2年)を中心に攻撃陣が全国の舞台でチャンスをものにできるか。

対する、2年連続38回目の出場となる東海地区第2代表中京大学。東海地区リーグでは強さを見せるも得失点差で静岡産業大に1位の座を譲ることとなった。サッカーの本質である「止める」「蹴る」の追求を続け、個人技術のレベルアップを目標と掲げた今シーズン。その集大成として中京大らしいプレーで観客を魅了したいと朝倉吉彦監督は語る。今大会において「自分との戦いに克つこと」を目標の一つに掲げ、一回戦突破を目指す。お互いに各地区第2代表同士、地区の代表としても熱い戦いになりそうだ。(文・内藤悠史)

| | | |
|---------|---------|------|
| 1 河原 | 札幌大 | |
| 3 石井 | 5 小松 | |
| 7 寺林 | 11 岡部 | |
| 8 竹内 | 6 池田 | |
| 10 藤井 | 16 海藤 | |
| 13 新田 | 9 稲田 | |
| 9 水野(翔) | | |
| 11 藤島 | 7 水野(隼) | |
| 8 西村(仁) | 19 岡田 | |
| 12 速水 | 6 江口 | 2 大村 |
| 4 村瀬 | 5 西村(佳) | |

| | |
|-----|-------|
| 中京大 | 17 近藤 |
|-----|-------|

関西大学 vs 東海学園大学

12月7日(水)13:30

夢の島

過去に2度の優勝経験を持つ関西大学だが、出場は3年ぶり。今年度は新監督前田雅夫の下、伝統ともいえるポゼッションスタイルに加え、全員でハードワークする姿勢や攻守ともアグレッシブに戦う気持ちに磨きかけた。相手の良さを封じる戦いも今年らしさで「前線の選手の個の能力が高く、非常に攻撃的なサッカーをする印象。相手のストロングポイントにしっかりと対応してぜひ勝ちたい」(前田監督)と初戦に向けての対策も進んでいる。神戸加入内定のGK 前川篤也(4年)らによる堅守と、関西リーグ11得点のFW 竹下玲王(3年)の活躍で勝機を見出した。

対する東海学園大学は東海リーグ3位での出場。J2長崎の特別指定選手としてJリーグ出場を果たしたFW 畑潤基(4年)や、全日本大学選抜に選ばれたMF 渡辺柊斗(2年)など攻撃にタレントが揃い、リーグでは18試合で71得点を奪う圧巻の攻撃力を見せつけた。総理大臣杯では初戦で阪南大学に勝利するなど実力は全国でも証明済み。安原成泰監督は「ミスを恐れず、攻め続ける超攻撃的なプレーを披露します」と意気込みを口にする。(文・森田将義)

| | | | |
|-------|--------|------|------|
| 1 前川 | 関西大 | | |
| 3 鯉沼 | 4 荒木 | | |
| 12 池端 | 21 黒川 | | |
| 14 森主 | 5 石井 | | |
| 28 藤村 | 24 塩谷 | | |
| 17 竹下 | 11 加賀山 | | |
| 10 畑 | | | |
| 11 榎本 | 14 武田 | 6 松浦 | |
| 18 渡辺 | 8 濱田 | | |
| 2 仲 | 3 細見 | 4 鹿山 | 5 本多 |

| | |
|-----|------|
| 東園大 | 1 高橋 |
|-----|------|